

事業報告

平成25年度（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）の事業の概況についてご報告申し上げます。

当期の経済状況は、消費税引き上げ前の駆け込み需要も見られ、年度全体としては順調に回復を続けてきました。生産は自動車を中心に高めの水準に、雇用、所得情勢にも改善が見られ、個人消費は、消費マインドの改善により、高齢者を中心に持ち直しの動きがみられ、緩やかに増加してきています。しかし、観光・旅行業では概ね横ばいに推移しており、訪日旅行者については、中国の尖閣、韓国の竹島問題などが影響しているものの年度後半に入り、個人旅行を中心にゆっくと回復してきています。

このような状況の中で当社は平成25年7月、会社創立60周年を無事迎えることができました。これも一重に株主の皆様をはじめ多くの愛知県民、名古屋市民の皆様の長きにわたるご支援・ご協力のお陰でありまして心から感謝申し上げます。さて、当社を取り巻く経営環境は60年間で大きく変わりました。平成25年7月からは放送事業者所有の塔体資産を当社が譲り受け、塔体全資産を当社が所有しての運営となり、これによりまして開業以来のテレビジョン放送事業はすべて終了となりました。

このテレビジョン放送終了に向けた事業再生については、平成16年度から検討を進めてまいりまして、平成25年度には新しい事業展開を図るべく定款変更を行い、久屋大通公園及びテレビ塔での多彩なイベント事業の開催など久屋大通地区の街づくり活動を積極的に進めてまいりました。例えば9月には全国唯一の民間主催による防災訓練「名古屋 ShakeOut」、11月には久屋大通公園冬の最大イベント「アカリナイト in2013」を80日間の日程で開催するなど四季折々の賑わいを創出してまいりました。なお、平成24年4月1日からは新しいマルチメディア放送「Nottv」が開局し、再び放送の電波塔としての役割を継続しております。

当社の基幹事業であります展望事業については、名古屋水族館など他の観光施設などとの連携強化を図ったほか、大都市中心部の夜景をカップルだけで観賞する「夜景ふたり占め」を近隣ホテルとの連携により開催するなど新しい商品開発を進めてまいりました。また、放送設備撤去後の空きスペースについて、地元劇団・落語家などによるイベントや名古屋市主催の「学生タウン・ナゴ校」の事務局など様々な有効活用を図ってまいりました。

この結果、当期における有料入場者数は209,960人（前年に比べ3.7%減）、また、無料を含む総入場者数は242,286人（前年に比べ3.6%減）となりました。これにより、当期における売上高合計は197,487千円（前年に比べ5.9%増）、販売費及び一般管理費合計は186,515千円（前年に比べ8.5%増）となりました。したがって、営業利益は10,601千円（前年に比べ26.6%減）となり、当期純利益は4,831千円（前年に比べ77.5%減）となりました。

平成26年度には、開業60周年を迎え、還暦の原点に立ちかえり2つの60周年を大きく飛躍するチャンスとして、平成26年6月20日「新ライティング・煌（きらめき）」の点灯式を新しいスタートとして、60年間の実績と経験を活かし、まちづくりや賑わい創出など地域の発展に貢献すべく役職員一同全力をあげる決意でございます。株主の皆様には、誠に心苦しい限りでございますが、前期に引き続き今期も無配とさせていただきますのでご理解の上、ご承認を賜りますようお願い申し上げます。